

## 令和5年度第1回湘南大庭の未来を考える会議議事録

日時 2023年（令和5年）5月23日（火）午後2時30分から4時30分

場所 湘南大庭市民センター 第1談話室

参加者 佐野会長他19人（詳細は出席者一覧のとおり）

### 1 開会

會澤課長補佐による司会で開会し、今年度、人事異動により新たに委員となった加藤委員（藤沢市住宅政策課長）から挨拶があった。その後、佐野会長が議長として会議を進行した。

### 2 湘南大庭地区（湘南ライフタウン）活性化指針（仮）たたき台第3章について

本会議において策定を目指している湘南大庭地区（湘南ライフタウン）活性化指針（仮）について、前回の会議で議論・検討した将来像の内容を文章化し、指針（仮）の第3章をたたき台としてまとめた資料1を用いて、大矢主任から説明した。

（意見等）

佐野会長：十分にわかりやすい内容になっていると感じるが、この資料の方向でいかがか。

中村委員：朝早くから、場所取りのためにとうきゅうのドトールに向かう高齢女性がいた。やはりカフェは居場所として人気だが、地区南部の小糸エリアにはそういうものはない。

佐野会長：湘南大庭市民センターの敷地内でコミュニティカフェが始まっているので、よい取組だと思う。ただ、誰がそういった取組を始めるかという問題はあ

中村委員：イオンのお祭り広場を活用できるとよい。

佐野会長：地域住民を動かして取り組んでいただけるとよい。

中村委員：イオンを巻き込むのは大切だと思う。高齢女性たちが、イオンの空き店舗を活用して総菜屋をやりたいという話もある。

佐野会長：そういった取組は、第3章の生彩の部分で絡められる。

茶屋道委員：この資料1の内容は、事前に活性化協議会の委員には見せているのか。

事務局：この会議で初めてお見せしている。

茶屋道委員：前回会議で活性化協議会案と事務局案の2つが出されており、活性化協議会案が住民目線でわくわくする、という意見があったかと思う。協議会の方にお聞きしたいのだが、この資料の内容は、住民の目線から、自分たちが住んでいるまちのことだと感じられるのかを知りたい。

道上委員：話がずれてしまうかもしれないが、コラム（発信）の2番目の項目について、「退職した世代でも」という風に限定せず、「色んな人が、地域の魅力

を一度に知ることができるような、情報を発信するコーナーを図書館に作りたい」という趣旨で私は意見をしていた。その意見もコラムに盛り込みながら充実させ、あたたかさを感じられるような内容にしていきたい。

事務局：現在のコラムは、活性化協議会からいただいた内容をベースに作ったもの。新たな言葉を入れることはできるので、活性化協議会のほうでも「こういうコラムがあったらいい」という意見があれば対応する。

茶屋道委員：第3章はあくまで思想的な内容であり、コラムに掲載されているような具体的な内容は、今後検討する第4章でも触れることとなる。そのため、このコラムにはキーワードを盛り込めればよいと思う。

事務局：今後、活性化協議会で第4章の取組方針を検討していただく際に、コラムに入れてほしい内容・キーワードが出てきたら、盛り込むことができる。ただ、より具体的に検討していきたいような内容であれば、第4章のほうに盛り込むほうが適切な場合もあると思うため、その意見ごとに整理をさせていただく。

佐野会長：コラムはあくまで例を示すものであり、内容的には大筋はこれでよいと思う。

茶屋道委員：この内容が、地域として共感できる内容になっているのか。

中村委員：活性化協議会にはいろんな世代の委員がおり、その意見は反映されているが、活性化協議会で地域住民を呼んでワークショップを行う等はない。ただ、アンケートや自治連、郷土づくり推進会議などを通じて、地域の声は活かされていると思われる。

佐野委員：この将来像はタウンミーティングでも投げかけて意見をもらうことになるので、そこで地域の声を聞くことができる。

大河戸委員：生彩という言葉は耳慣れないが、どういう意味合いなのか。また、最後のページの将来像実現に向けたイメージについて、ソフト面の取組とハード面の取組でも分けられているが、どこからどこまでがハード面の取組なのか。

事務局：生彩という言葉の部分は事務局としても苦慮した箇所である。意味としては、生きる彩りということで、生きるうえでの楽しみという意味合いである。分かりづらいというご意見があれば、再度検討する。また、将来像実現に向けたイメージについては、青い線の中がハード面の取組、その他がソフト面の取組となる。

佐野会長：普段聞き慣れない言葉をあえて使うことで、興味を持ってもらうことができるかもしれない。

大河戸委員：そのまま生彩という言葉を使うのであれば、その“いろどり”という説明をしていただいたほうがよいと思われる。

### 3 タウンミーティングの実施概要について

7月に実施を予定しているタウンミーティングの内容について、実施概要（資料2-1）及びチラシ案（資料2-2）を大矢主任から説明した。

（意見等）

實方副会長：事務局とも打合せを行い、内容を考えた。第2部のグループワークでは、グループの中のメンバー同士でつながりをつくってもらいたいと思っている。第1部について、魅力・課題やキーワードは、地域の生きた声で語っていただきたいので、活性化協議会の方に説明をお願いしたい。第2部のグループワークでは、活性化協議会の方にファシリテーターをお願いするという方法もあったが、自分たちの意見を話すのを我慢するのも辛いと思うので、事務局の職員が担うこととしたい。時間が長いと感じるかもしれないが、十分に意見を出してもらうために、第2部は80分としている。

佐野会長：活性化協議会の委員でぜひ参加したいという方は、事前に申込をしていただければ。

森谷委員：チラシの配付はどう行うのか。

事務局：地域回覧や、調整次第だが、小中学校への紙の配付を行いたい。

道上委員：参加は小学生でもできるのか。

事務局：小学生でも可能とする。

道上委員：小学生に配るなら、ふりがなを振ったり、現状あまり難しい言葉はないかもしれないが、なるべくやさしい日本語を使うほうがよい。

事務局：小学生に分かりやすいように修正する。

中村委員：湘南大庭地区の自治会加入率は75%程度であり、自治会に入っていない人への周知は、市民センターへの配架、地区ポータルサイトやとうきゅう等への掲出が考えられる。また、グループは3つのテーマごとに作成するということだが、第2部に小学生が参加する際は、小学生だけでグループをつくるのか、大人と同じグループにするのか。

事務局：グループについては、申込の際に希望を取ることを考えている。小学生のグループ参加については、具体的にはこれから検討する。

中村委員：小学生が参加するなら、学校の教員にも周知が必要ではないか。

事務局：各校の教頭先生に話をする予定である。

佐野会長：小学生と言っても、参加申込を行うことができるという点である程度限定されると思われる。

中村委員：参加者がどう活かされるのかを示さなければならない。

佐野会長：参加者単体ではなく、グループワークなので、グループで出た意見を活かすこととなる。

中村委員：テーマごとにグループを設定すると、テーマによって希望が偏るのではないか。

佐野会長：申込の際に第1希望から第3希望まで取り、その中でグループを設定することとすればよい。

神木委員：35年ほど前に湘南大庭地区で同じようなグループワークのイベントを実施した。その際は、参加者は60人程度いたので、思っている以上に人数が集まる可能性はある。1グループ8人、合計3グループというのはどういう考えで設定したのか。

事務局：グループの人数が多くなってしまうと話す機会が減ってしまうため、8人で設定した。グループについては、会場の都合もあるので、3グループで考えている。

神木委員：その35年前のイベントでは市長も来たが、今回は来るのか。

事務局：現在のところ予定はない。

神木委員：市長にも来てもらったほうがよいのではないか。市長が来られないなら、幹部の方など。

事務局：スケジュールの問題もあるため、この場ではお約束はできない。

佐野会長：第1部の説明を聞いたうえで意見をもらうことも本当はあるとよいが、時間の都合上難しいため、それについては意見箱や付箋等でもらうこととしている。このイベントで一番怖いのは、人が集まらないことである。また、お祭り型ではなく、提案型でやっていく種類のイベントである。

道上委員：チラシの配付について、図書館にも150部ほど貰えれば配付できる。また、湘南大庭地区のポータルサイトにも掲出できれば。なるべく多くの人の目に入るようにしてほしい。

事務局：チラシは必要などところに配架できるように調整する。

大河戸委員：事前にテーマの希望を参加者に聞くということだが、メールで申込が来たものはどう確認するのか。

事務局：届いたメールに返信して確認を行う。

大河戸委員：チラシの表面について、文字数を減らすことを意識されたということだが、まだ多いと思うので、もっと重なっている言葉を削除してよいと思う。人数を増やしたいなら、ノベルティについては表面に掲載したほうがよい。また、先ほど市長に来てもらうという話があったが、市長が来ると住民は「要望を伝えたい」という気持ちになってしまうおそれがある。

佐野会長：確かに、イベントの方向性が変わってしまうかもしれない。

茶屋道委員：今回、将来像の3つのテーマをグループごとに扱うということだが、話し合う内容をもっと分かりやすくしたほうがよいと思う。福岡県宗像市の日の里ニュータウンでも、この4月に同様のイベントを開催しており、ワークショップでは9つのテーマを設定していて、「大通りで遊ぼう」など、それぞれ中学生でも理解できるようなテーマで実施していた。

佐野会長：次の議題、資料3に関わってくる部分。

事務局：将来像の3つのテーマではなく、資料3でご説明するキーワードをテーマにするという方法は考えられる。

佐野会長：現時点では、取組のターゲットも決まっていないため、あまり具体的な内容には踏み込めないと思われる。具体的な内容を扱うのなら、第2回のタウンミーティングを開催する際に、もっと踏み込んだテーマにするということもできる。

#### 4 タウンミーティングの説明資料について

タウンミーティング第1部の説明資料について、資料3を基に、大矢主任から説明した。

(意見等)

佐野会長：項目2の魅力と課題の部分について、スライド内の【魅力】と【課題】の色を変えると一目でわかりやすくなると思われる。また、項目2・3は活性化協議会の委員にご説明いただくということでよろしいか。

道上委員：今度活性化協議会の会議があるため、そこで皆で相談する。また、項目3のキーワードの写真の下に載せるコメントは、こちらで考えてよいということか。

事務局：今載せている写真等は例だが、活性化協議会の委員の思いを表した一言を、コメントとして載せていただきたい。写真もこれに限るわけではないので、調整させていただければ。

松下委員：スライド11番のバスのイラストについて、大庭を走っているバスのデザインに変更してほしい。

事務局：著作権等の関係もあるので、こちらで検討させていただく。

道上委員：このパワーポイントのデータは提供いただけるか。

事務局：送付する。

大河戸委員：スライド13番のコミュニティの内容は結構ネガティブな内容になっているが、意図的なものか。また、スライド29番の集会所の写真は、開いていて使われているときの写真のほうがよい。それと、項目4の生彩については、先ほどの議題2のところでは話したとおり、“いろどり”という単語を加えてほしい。

實方副会長：生彩のサブタイトルの部分は、「生活の中にいろどりや楽しみがある町」という説明がよいと思う。

事務局：“いろどり”という言葉をやさしく使って示せるよう修正したい。

中村委員：発信の部分で、大庭城址をもっと前面に出したいと考えている。

事務局：項目3のキーワード部分で話していただければ、より伝わると思われる。

中村委員：大庭城址の写真は桜以外のものがよい。

事務局：当日の説明の時間配分もあるが、自分たちで持っている写真があれば、個

人情報に留意いただいたうえで、それに差し替えて説明を行っていただくこともできる。

道上委員：項目ごとの時間配分はどの程度か。

事務局：まだ細かく時間設定していないが、全体が45分のため、項目2・3で20分ぐらいを想定していただければ。

道上委員：項目2・3セットで20分ぐらいということによいか。

事務局：問題ないが、項目2の魅力・課題は網羅的に説明していただきながら、うまく時間配分していただきたい。

茶屋道委員：第2部はスライド36番以降に関わってくるということによろしいか。

事務局：それで間違いない。ここにあるまちのイメージをもとに、こういった取組をしたい、こんなまちにしたい、といったことを話し合っていたきたい。

茶屋道委員：共生であれば、様々な人が暮らすまちにするにはどうしたらよいかということ意見を意見交換してもらおうということか。

事務局：そういったことや、そこに向けてどんなことを取り組むのか、といったことを想定している。

茶屋道委員：そうすると、スライド42番の「保全や活用」など、小学生には難しい言葉がある。

實方副会長：第1部が良い内容になっていると思うので、第2部の参加者には第1部も聞いてもらいたい。チラシにその旨掲載できればしてほしい。また、チラシ裏面の「注意事項」という言葉を、「参加にあたってのお願い」という言い方に変えたほうがよい。

事務局：第2部の参加者に第1部も参加してもらえるように、「第1部のみの参加もできます」という掲載に変更したい。

佐野会長：第2部のグループワークに参加ではなく、傍聴したいという人もいるかもしれないので、対応を考えておく必要がある。

事務局：検討はするが、体育室の壁側や上などに傍聴者用の席を用意することはできると思われる。

森谷委員：参加してもらう人に、事前にこの資料をデータで見せることは検討していないのか。

佐野会長：これが正しいという刷り込みになってしまう可能性があるので、事前に見せるのは難しい。

大河戸委員：前回の会議で、子どもまちづくり会議で作成された模型を展示できないかという話があったかと思うが、どうだったのか。

事務局：展示されていた模型は主催者に回収されており、現在どういう状態かはこれから確認し、可能なら展示する。

神木委員：あの模型があったほうが、話題にもなるのでよいと思う。

事務局：もし模型が展示できない場合は、子どもまちづくり会議の写真などを展

示できないか検討する。

佐野会長：展示については、他にアンケート結果等が考えられるが、その他にも展示物について意見はあるか。

中村委員：スルガ銀行の展示室に湘南大庭の昔の写真があったので、そのような写真を展示できないか。

大河戸委員：本会議の一番最初の会議で昔の写真がなかったか。

事務局：開発前と現在の航空写真を掲示していた。

神木委員：小糸小学校の校長室に昔の航空写真などがあったので、それを来場者に見てもらえればインパクトがあると思う。

事務局：チラシ配付の件で学校には相談に行くので、その際に確認する。

佐野会長：西部開発を行った事務所が、開発に関わる色々な写真や模型等を、小学校に提供していると思われる。

神木委員：参加者が、来てよかったと思えるようなインパクトがあるとよい。

事務局：可能な範囲で検討させていただく。

道上委員：チラシの裏面に掲載されている、ノベルティとは何か。

中村委員：粗品の意味合い。子どもたちが喜ぶものをノベルティとして配ったほうがよいのではないか。

事務局：ノベルティ用の予算があるわけではなく、渡せるものをかき集めることとなるため、素晴らしいものが用意できるわけではない。

道上委員：ノベルティについては、裏面ではなく表面に掲載したほうがよいと思う。

杉渕アドバイザー：自分が職員だった頃、都市マスタープランの策定で市内各地区をまわった。その際、湘南大庭地区については、まちの基盤が揃っていてよいという一方で、地区内の幹線道路までの移動手段というのが、当時から課題として議論されていた。近年の都市計画では、福祉との連携が重要。湘南ライフタウンの将来像を考えるためには、この場でも、タウンミーティングでも、色々な意見をもらえるとよい。川崎市麻生区は健康寿命日本一ということ謳っているが、湘南大庭地区も高齢者の介護認定率は低いため、同じような特徴を持っている。そういった先進事例も参考にしながら、色々な方からご意見をもらい、住んでよかったと言えるまちになればと思う。アドバイザーとして力添えさせていただく。

中村委員：自分が市の農政課にいた際は、都市と農業の共生を謳って農家に支援していた。

佐野会長：湘南ライフタウンは農住都市構想の代表。居住地区内の移動についても、この会議で考えていければ。高齢者が邪魔と思われず、健康でまちをつくっていく、若い人たちと共生できるようなまちになるとよい。

## 6 その他

事務局から、今年の4月28日に発表された、湘南大庭地区の最新の人口推計の結果を情報提供した。また、次回日程については、8月29日（火）午後の開催を予定しており、詳細な日時は改めて連絡することとなった。

## 7 閉会

## 8 まとめ

### 議題1 指針（仮）たたき台第3章について

#### 【決定事項】

- ・活性化協議会で第4章の取組方針を検討していただく際に、指針（仮）に入れてほしい内容・キーワードが出てきたら、内容により整理し、第3章か第4章に盛り込む。

#### 【確認・検討事項】

- ・生彩という言葉を使う際は、生きるうえでの“いろどり”という説明を行う。

### 議題2 タウンミーティングの実施概要について

#### 【決定事項】

- ・小学生に配付するチラシには、ふりがなを振ったり、やさしい日本語を使う。
- ・図書館も含め、チラシは必要などころに配架できるように調整する。

#### 【確認・検討事項】

- ・小学生のグループ参加の方法。
- ・申込の際に第1希望から第3希望までグループの希望を取ること。
- ・湘南大庭地区ポータルサイトへの情報の掲載。
- ・チラシの表面について、文字数を減らす。ノベルティについて表面に掲載。
- ・グループごとのテーマをもっと分かりやすくするかどうか。（第1部の説明で扱う“キーワード”に関連させるなど）

### 議題3 タウンミーティング

#### 【決定事項】

- ・項目2・3は活性化協議会の委員に説明してもらおう方向で、掲載するコメントや写真についても併せて活性化協議会内で検討していただく。
- ・説明資料のパワーポイントデータは事務局から活性化協議会に提供する。
- ・生彩のサブタイトルの部分に“いろどり”という言葉を加える。（「生活の中にいろどりや楽しみがある町」など）
- ・項目2・3合わせて20分程度の説明時間。項目2の魅力・課題は網羅的に説明していただく。
- ・第2部の参加者に第1部も参加してもらえよう、チラシ掲載内容を修正。



**【確認・検討事項】**

- ・項目2のスライド内の**【魅力】**と**【課題】**の色を変える。
- ・スライド11番のバスのイラスト、スライド29番の集会所の写真の検討。
- ・スライド42番の「保全や活用」などをやさしい言葉にする。
- ・チラシ裏面の「注意事項」という言葉を、「参加にあたってのお願い」に修正。
- ・第2部のグループワークの傍聴希望者への対応方法。
- ・子どもまちづくり会議で作成された模型や、小学校にある湘南大庭に関連する写真等の展示の可否を確認。

議題4 スケジュール

**【決定事項】**

- ・資料4のとおり進める。

以 上

## R5第1回湘南大庭の未来を考える会議 出席者一覧

	分類	所属・役職等	氏名
1	地域住民	湘南大庭地域活性化協議会 委員	神木 紀
2		〃	松下 晴彦
3		〃	道上 久恵
4		〃	中村 亮一
5	民間事業者	有限会社マルモ 取締役	森谷 健一
6	関係機関	神奈川県住宅供給公社 賃貸事業部 運営企画課 主任	茶屋道 京佑
7	学識経験者	公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター 理事長	佐野 充
8		株式会社 都市環境研究所 計画グループ 主任研究員	實方 理佐
9	神奈川県職員	神奈川県県土整備局 建築住宅部 住宅計画課 住宅企画グループ グループリーダー	大河戸 正明
10		神奈川県県土整備局 建築住宅部 公共住宅課 住宅管理グループ グループリーダー	君塚 強
11	藤沢市職員	藤沢市 住宅政策課	加藤 淳一
12		藤沢市 湘南大庭市民センター	矢内 健

### 事務局

1	藤沢市職員	藤沢市 住宅政策課	會澤 貴浩
2			大矢 秀宣
3			近藤 みゆき
4		藤沢市 都市計画課	堀田 典久
5			與安 裕之
6		藤沢市 湘南大庭市民センター	入澤 紀夫
7			菅谷 和彦
8		アドバイザー	